

地区名

○山ノ内町 須賀川地区

(1) 地区が抱える課題等

- 地区の小学校の廃校
- 商店等の減少
- 若者の流出(担い手不足)
- 雇用先、働き先の確保

(2) 地区が抱える課題に対する検討状況

- 実施体制 (1) 公共施設検討会議及び職員における利用の検討
(2) 地元協議会の設立(北小学校施設利用検討協議会)
(3) 地元協議会による検討利用検討
(4) 町・協議会による情報交換
- 検討内容
: 拠点(空き小学校)整備等の検討
(1) 定住者の利便性及びコミュニティスペースとしての利用
(2) 雇用の創出(企業誘致・地域運営型商店等の整備)
(3) 情報発信(観光案内、郷土の歴史等)
(4) コミュニティバスの検討
- 関係団体との連携・調整状況
(1) 町、地元協議会検討内容の情報共有
(2) 町、地元協議役員との先進地視察及び小学校内覧
- 今後のスケジュール等
(1) 平成29・30年度公共施設の整備方針等の検討⇒利用に伴い基本設計・実施設計を実施
(2) 地元等の要望事項の選定及び整備方針の検討⇒地域の要望や現状に則した設計を実施

(3) 検討を踏まえた具体的な事業内容

- 地域住民の利便性を考慮するとともに、コミュニティ形成を図ることを目的として、地域に点在する公民館・診療所・児童クラブを併合する。また学校で利用していた図書館を、活用し「地域の図書館」とすることで、コミュニティ形成を増強する。
- 地域住民の要望を踏まえ、空き教室を商店や地域住民の活動の拠点・企業誘致等による雇用の創出等の方針を継続して検討する。
- 地域の拠点としての利用に伴うコミュニティバスの促進を図る。

(4) 今後の課題

- 適正規模・配置等の検討
- 空きスペースの利用検討
- 管理・運営の検討

自治体
○公共施設
の集約・利
用の検討



地元協議会
○協議会設立
○地区の利用
要望の聴取・
検討

情報共有・検討等

※地元協議会
=北小学校空き施設利用検討協議会